

現役合格への 軌跡

2022年度 共通テスト倫理 第2問

12

[問題編]

前回に引き続き、2004年から2025年度に実施されたセンター試験・共通テストの問題を分析し、その中で頻出の人物に関する問題を紹介していきます。今回は、日本の思想家で最多出題の「本居宣長」についての問題を紹介します。「本居宣長」は過去22年間で9回出題されています。

問4 下線部①に関して、CとDは、本居宣長が説いた真心の働きを、自分たちの身近な事例を通じて説明できないかを話し合った。本居宣長の真心についての考え方方に即してなされた発言として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① 図書館で借りた本を返さない人がいるんだよ。借りた物を期限までに返すのは、人として当たり前のことなのに、誰もが物事の善悪を考えて、道理に従つて正しく行動すれば、世の中のこととは万事うまくいくと思うんだ。
- ② 知り合いに、いつも腹を立てている人がいるんだ。何かにつけて怒りをあらわにするなんて、大人げないよね。心の状態にかかわらず、自分の立場や役割をよく考えて、全ての人に親切に接することが大切だと思うんだ。
- ③ あえて感情を抑えて、理性的に振る舞うことを心掛けている人もいるみたい。でも、悲しいときには泣けばいいし、嬉しいときには喜べばいいんだよ。そういうことが、人の本来の生き方であると思うんだ。
- ④ 学級委員の二人、文化祭のことで感情的になっちゃって、かなり険悪な雰囲気だったよね。感情に任せて他人と争うなんて、愚かなことだよ。一時の感情に身を任せずに、丁寧に説明すればわかり合えるはずなのに。

【解答】

正解：③

【解説】

この問題は、本居宣長が説いた真心の働きについて、適切な具体例を選ぶというものです。まずは、必要な知識について確認ていきましょう。本居宣長は、偽りなく素直でおおらかな真実の心を真心と説きました。「真心とは、善くも悪しくも、生まれついたままの心を言ふ」という言葉も残しています。また、本居宣長は人間としての自然な感情を肯定し、真心に従って生きることが、人間本来のあり方であると説きました。

以上を踏まえると、「悲しいときには泣けばいいし、嬉しいときには喜べばいいんだよ」と述べている③が本居宣長の説いた真心の働きに合致した具体例となります。①は「道理に従って正しく行動すれば」という部分において、本居宣長は真心に従って生きることが人間本来のあり方と説いているため、不適切と判断できます。また、②の「心の状態にかかわらず」や④の「感情に任せて他人と争うなんて、愚かなことだよ」は、偽りなく素直な心情が表れているとは言い難いため、不適切と判断できます。

※思想家の考えに合致する具体例を選ぶ問題は頻出です。知識を習得する際に、用語と説明だけでなく身近な具体例を思い浮かべるようにすると、具体例を選ぶ問題に対応できるだけでなく、知識習得がしやすくなり一石二鳥です。

現役合格への 軌跡

2025 年度 共通テスト倫理 第 4 問 20 [問題編]

引き続き、「本居宣長」に関する問題を紹介します。続いては、2025 年度の問題です。本居宣長が選択肢に含まれている、江戸時代の思想家についての問題です。

問 3 下線部②に関連して、江戸時代の思想家についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。20

- ① 伊藤仁斎は、後世の注釈を排して直接『論語』『孟子』に学ぶ古文辞学を提唱し、中国古代の先王の道を日本に実現しようとした。
- ② 本居宣長は、儒教や仏教を「漢意」であると批判し、生まれながらの「真心」に従うべきだとして、「万人直耕」の「自然世」に立ち返ることを求めた。
- ③ 富永仲基は、仏教經典を、後世の人々の解釈が付加されて成立したものと考えて、その全てが釈迦自身の言葉とは限らないと主張した。
- ④ 佐久間象山は、「東洋道徳、西洋美術」と述べて、西洋の科学技術の優位を認めつつも、道徳は日本の方が優れているとし、鎖国攘夷の立場をとった。

【解答】

正解：③

【解説】

この問題は、江戸時代の思想家についての知識を問う問題です。共通テストで問われる知識問題は基本的なものが多いですので、しっかりと正解をして点数を稼ぎたいところです。①の伊藤仁斎は、『論語』や『孟子』の原典に立ち返り、もともとの意味である古義を明らかにし、孔子や孟子の原始儒教を追求する古義学を提唱しました。加えて、伊藤仁斎は孔子の教えの根本は仁と愛であるととらえ、仁愛の根底に誠の精神をおき、仁・愛の実践を説きました。①の古文辞学や先王の道は、荻生徂徠の考えであるため、適当ではありません。

②は本居宣長についての選択肢ですが、「儒教や仏教を「漢意」であると批判し、生まれながらの「真心」に従うべきだとして」の部分は正しい知識です。一方で、「「万人直耕」の「自然世」に立ち返ることを求めた」は安藤昌益の考えであるため、②は適当ではないと判断できます。

③の富永仲基は、大坂の懐徳堂で学び、仏教・儒教・神道の教えが歴史的に成立した過程を明らかにする思想史的研究をおこない、大乗非仏説論という大乗仏教の經典は釈迦本人の教えではないと説きました。③の内容と合致しています。

④の佐久間象山は、幕末の思想家であり「東洋道徳、西洋芸術」という言葉で東洋の伝統的な道徳や精神の上に、西洋文化を知識や技術として積極的に摂取することを説きました。また、開国論を説いたため、尊王攘夷派により暗殺されました。④においては「鎖国攘夷の立場をとった」という部分が誤りのため、適当ではないと判断できます。

※選択肢の前半部分が正しい記述であっても、後半部分や接続詞が不適切な場合があるため、選択肢を細かく見てケアレスミスが無いようにしていきましょう。
今までの頑張りや習得した正しい知識を信じて頑張ってくださいね！